

## 本文書の使用にあたって（お願い）

オファー説明書：Cisco Collaboration Flex Plan（参考和訳）

本文書は Offer Description for Cisco Collaboration Flex Plan の参考和訳であり、英文の原文をご確認頂く際の参考資料として作成されたものです。訳文作成にあたっては、極力原文の内容を正確にお伝えできるよう努めておりますが、原文と訳文の内容に差異があった場合には、原文の内容のみが効力を有するものといたします。

原文 URL:

[https://www.cisco.com/c/dam/en\\_us/about/doing\\_business/legal/OfferDescriptions/cisco\\_collaboration\\_flex\\_plan.pdf](https://www.cisco.com/c/dam/en_us/about/doing_business/legal/OfferDescriptions/cisco_collaboration_flex_plan.pdf)



## オファー説明書： Cisco Collaboration Flex Plan

このオファー説明書は、Cisco Collaboration Flex Plan（以下「シスコテクノロジー」）を説明するものです。本文書で定義されていない限り、大文字で始まる用語の意味は、EULA もしくは一般規約（掲載場所：[https://www.cisco.com/c/dam/en\\_us/about/doing\\_business/legal/eula/eula-japanese.pdf](https://www.cisco.com/c/dam/en_us/about/doing_business/legal/eula/eula-japanese.pdf)）、またはお客様とシスコとの間におけるこれらに類似する既存の規約（以下「本契約」）に定めるとおりとします。明確にするために付記しますと、本文書のような製品説明書は、これまでオファー説明書または補足エンドユーザーライセンス契約という名称でした。そのため、本契約におけるこれらの文書への参照は、本製品説明書への参照として解釈する必要があります。

### 1. 説明

#### 1.1 Cisco Collaboration Flex Plan

Cisco Collaboration Flex Plan のサブスクリプションでは、シスコがホストする環境向けのさまざまなシスコテクノロジー（以下「クラウドサービス」）や、オンプレミス環境またはパートナーがホストする環境向けのさまざまなシスコテクノロジーを柔軟に導入できます。本プランで提供されるクラウドサービスには、次のものが含まれます。

- Webex Meetings
- Webex Calling
- Unified Communications Manager Cloud
- Webex App
- Webex Webinars（旧称：Webex Events）
- Webex Video Integration for Microsoft Teams
- Webex for Government
- Unified Communications Manager Cloud for Government

オンプレミス環境またはパートナーがホストする環境（Webex App クラウドサービスを含みます）では、次のソフトウェアをシスコが提供する場合があります。

- Cisco Meeting Server
- Cisco Unified Communications Manager（UCM）
- HCS

#### 1.2 Cisco Collaboration Flex Plan for Education

シスコテクノロジーは、付属書 A に記載されているとおりに、教育関連のユーザーに提供されます。

### 1.3 Cisco Collaboration Flex Plan for FedRAMP Certified Services

Webex for Government および UCM Cloud for Government は、付属書 B の第 2.1 項に記載されているとおり、FedRAMP によって認定されています。

### 1.4 Cisco Webex Production Assist

シスコは、Production Assist Services を付属書 C に記載されているとおりに、Webex のユーザーに提供します。

### 1.5 拡張セキュリティパック

拡張セキュリティ パック スタンドアロン オファーには、Cloudlock for Webex へのアクセスが含まれています。Cloudlock に関連する情報については、[Cloudlock オファー説明書](#)を参照してください。Duo 多要素認証 (MFA) バンドルが付属する拡張セキュリティパックには、Webex 向けの Cloudlock 認証と MFA 認証の両方へのアクセスが含まれています。この Duo 機能は、アプリケーション (数は問いません) 用の基本的な MFA とシングルサインオン (SSO) に限られます。Duo Security に関連する情報については、[Duo オファー説明書](#)をご確認ください。

### 1.6 Webex Video Integration for Microsoft Teams

シスコは、Webex Video Integration for Microsoft Teams を[こちら](#) [英語] のオファー説明書の記載に従い提供します。

## 2. ライセンスモデル条項

下記のとおり、シスコテクノロジーは複数のライセンスモデルで利用できる場合があります。また、ライセンスモデルを (a) Named User から Active User またはエンタープライズ アグリーメントに変更したり、(b) Active User からエンタープライズ アグリーメントに変更したりするなど、柔軟な選択が可能です。ただし、サブスクリプションをエンタープライズ アグリーメントから他のライセンスモデルに変更することはできません。

#### 2.1 Named User

お客様の支払い義務ならびにシスコテクノロジーを使用する権利は、使用状況に関係なく、注文書上の Named User の数に基づいて決まります。クラウドサービスおよびソフトウェアにアクセスする Named User の数が注文書上の Named User の数を超える場合、追加の Named User の数を反映するため、お客様が支払うべき額が増加します。注文書上の Named User の数を超えた後は、いつでも請求の調整が可能です。

「Named User」とは、本クラウドサービスおよびソフトウェアにアクセスできる従業員または請負契約者を意味します。各 Named User には、指定された従業員/請負契約者以外は共有/使用できない専用アカウントが付与されます。Named User のアカウントは、(a) Named User 従業員の雇用が終了するか、(b) シスコから事前に書面による承認を得た場合を除き、他の人員に譲渡することができません。Named User の作為または不作為、もしくは Named User に起因するすべての費用については、お客様が全責任を負うものとします。

#### 2.2 Active User

**Active User** ライセンスモデルでは、お客様のすべての組織が Flex Plan Meetings にアクセスできるようになります。お客様の支払い義務は、Active User の最低数 (以下「AU 最低数 (AU Minimum)」) に基づいて決まります。AU 最低数は、使用期間中にお客様の組織が拡大したり、Meetings の使用数が増加したりした場合に増えることがあります。Meetings の最初の総権限数は、最初の注文書に記載されたナレッジワーカーの数によって決まります。お客様の注文が Active User ライセンスモデルの参加対象となるためには、少なくとも 250 ナレッジワーカーまたは 40 の Active User を含んでいる必要があります。各 Active User には、指定された従業員/請負契約者以外は共有/使用できない専用アカウントが付与されます。

使用期間の開始時に、お客様のAU最低数は次のように決定されます。

- レガシー AU ライセンスモデルで購入する場合、AU 最低数は 40 のActive User またはナレッジワーカーの 15% のいずれか大きい値になります。その時点で最新の AU ライセンスモデルで購入する場合、AU の最低数は 40 のActive User になります。
- 既存のサブスクリプションから移行する場合、お客様は、既存のサブスクリプションに関連付けられている Active User の数を保持し、お客様の AU 最低数はその数に等しくなります。
- サブスクリプションの初年度中に次の事項が発生した場合、AU 最低数が調整される場合があります。
  - Active User のピーク数が、最初の AU 最低数の 5 倍を超えた場合、お客様の AU 最低数は即座にリセットされ、ピーク時の実際の Active User 数と等しくなります。
  - シスコは提供日から 1 年ごとに、お客様の平均 Active User 数を測定します。このプロセスは「**True Forward**」と呼ばれます。お客様の平均 Active User 数が AU 最低数より大きいことが判明した場合、AU 最低数は増加し、その追加された Active User 数分について、残りの使用期間中、増分の True Forward 料金が加算されます。請求の調整は、True Forward 計算結果として AU の最低数が増加した後であれば、いつでも行うことができます。True Forward によって Active User 数が減ることはありません。

## 2.3 エンタープライズ アグリーメント

Collab Flex エンタープライズ アグリーメント ライセンスモデルには、シスコのエンタープライズ アグリーメントプログラム規約 (Cisco Enterprise Agreement Program Terms) が適用されます。お客様が注文する際には、この規約に同意していただく必要があります。なお、使用権については、この規約を参照してください。

## 2.4 Shared Meetings

お客様の支払い義務ならびにシスコテクノロジーを使用する権利は、注文書上の同時ミーティング数上限 (Concurrent Meetings Cap) に基づいて決まります。この同時ミーティング数上限を超えない範囲であれば、使用期間中、無制限にミーティングを開催できます。

- 同時ミーティング数上限を超過した場合は、本項の True Forward プロセスに従い、追加ミーティング料金をお支払いいただきます。
- クラウドミーティングとオンプレミスミーティングを合わせて 1 件以上 25 件以下を同時ミーティング数上限としてミーティングをご購入いただく必要があります。
- クラウドミーティングにアクセスできるのは、従業員 250 人までです。

本項における「**True Forward**」とは、ピーク時同時ミーティング数 (Peak Concurrent Meetings) が注文書上の同時ミーティング数上限を超えた場合に課金される料金を決定するためのプロセスのことをいいます。Shared meetings ライセンスモデルでは、お客様の使用期間の第 2 四半期から、四半期ごとに True Forward が実施されます。お客様のピーク時同時ミーティング数が注文書上の同時ミーティング数上限を超えている場合、担当の認定販売元から、超過したミーティングに対する料金が請求されます。残りの使用期間における最低支払い義務も、ピーク時同時ミーティング数の増加に基づいて加算されます。True Forward によって同時ミーティング数上限が減ることはありません。

## 2.5 定義

本第2項で使用される定義済みの用語は、次のことを意味します。

「**ナレッジワーカー**」とは、シスコテクノロジーを実行できるコンピューティング デバイスや通信デバイスを、お客様のために遂行する職務の一環として使用する、お客様の従業員または請負契約者を意味します。

「**展開済みナレッジワーカー**」とは、インストール済みのシスコテクノロジーのプロビジョニングプラットフォーム内で設定され、デスクフォン、Jabber クライアント、Webex アプリケーション クライアント、携帯電話、ビデオデバイス、またはパーソナル コンピュータ デバイス（該当するもの）に関連付けられたプロフィールを有しているナレッジワーカーを意味します。

「**Active User**」とは、シスコテクノロジーにアクセスし、少なくとも1つの会議を開始したナレッジワーカーを意味します。

「**平均 Active User 数**」とは、お客様の前年の9か月目、10か月目、11か月目の月間 Active User の数を平均した値を意味します。明確にするために付記すると、9か月目、10か月目、および 11か月目は、対応する3つの30日の期間に基づいています。

「**ミーティング**」とは、(a) Webex Meetings、Webex App、Cisco Meeting Server のいずれかで開始されるミーティング、または、(b) Webex のパーソナル会議番号を使用して電話で開始されるミーティング（起動されているツールが Webex Meetings、Webex App、Cisco Meeting Server のいずれであるかは問いません）を意味します。Webex App の1対1スペースから開始される予約なしのミーティングは、「ミーティング」には含まれません。

「**同時ミーティング数上限**」とは、お客様が同時に開催できるクラウドミーティングとオンプレミスミーティングの最大数を意味します。

「**ピーク時同時ミーティング数**」とは、使用期間の前の四半期中に同時に開催されたミーティングの最大数を意味します。

## 3. データ保護

該当の[プライバシーデータシート](#)では、本クラウドサービスをお客様に提供する際にシスコが収集して処理する個人情報について説明しています。シスコがすべてのカテゴリのデータを処理、使用、および保護する方法の詳細については、[シスコの Security and Trust Center](#) [英語] のページを参照してください。

## 4. 個人使用のためのアカウント

個人的な目的でシスコテクノロジーを使用するためにアカウントを作成した場合、お客様がシスコテクノロジーの使用中に共有したデータには、お客様の雇用主のポリシーは適用されません。ただし、雇用主が発行した電子メールアドレスをお客様が使用しており、その後お客様の雇用主がシスコテクノロジーをシスコから購入した場合、お客様のアカウントに関連付けられた電子メールアドレスを個人の電子メールアドレスに更新する必要があります。シスコでは、個人的な目的で使用する場合に、個人用の電子メールアドレスを使用してシスコテクノロジーにアクセスすることを推奨しています。電子メールアドレスを変更するには、こちらの[手順](#)に従ってください。お客様が何もしない場合、お客様のアカウントおよび個人データはお客様の雇用主が管理し、利用に際してはお客様の雇用主のポリシーに従うこととなります。

## 5. 補足条項

### 5.1 契約期間

最初の使用期間は、シスコテクノロジーのいずれかの部分がプロビジョニングされた日に開始します。シスコテクノロジーのいずれかの部分のプロビジョニングの準備ができた時点で、シスコはお客様に通知します。なお、その時点で、お客様は、そのシスコテクノロジーの使用を開始するために特定の手順を実行する必要があります。お客様がプロビジョニング手順を完了しない場合、シスコは、お客様のライセンスを自動的に有効にし、その自動的に有効にした日に基づいて使用料を請求することがあります。お客様は、シスコによるその自動的に有効化は、最初の使用期間の開始を示すことを理解し、お客様は、その日以降のすべての使用料金を支払うことに同意します。

### 5.2 未成年者による利用の制限

通常、シスコテクノロジーは、関連する法域において法的に同意できる年齢（例：米国の 1998 年児童オンラインプライバシー保護法においては 13 歳、EU 加盟国の法においては 16 歳または 13 歳）に達していない方（以下「**未成年者**」）による利用が認められていません。未成年者がシスコテクノロジーを使用するためのアカウントを作成することはできません。また、お客様は未成年者に対し、シスコテクノロジーにアクセスすることを認めないものとします。

### 5.3 地域的な条件および制限事項

シスコテクノロジーは、グローバルな電気通信に関する法令に従って、[こちら](#) [英語] に記載されている国で現在利用可能です。

### 5.4 Webex Calling 製品

お客様が Webex Calling Plan、Webex Calling、Webex for Government、Unified Communications Manager Cloud (UCM-C) または Unified Communications Manager Cloud for Government (UCM-G) を利用した場合、**付属書 D** に記載されている追加の法的要件が適用される場合があります。

Webex Meetings に関して、シスコがダイヤルイン番号（有料もしくは無料、またはその両方）およびコールバック機能を提供する場合、基盤となる通信設備をシスコが運用することはありません。シスコは、認定事業者から通信基盤機能を取得しており、PSTN 関連の規制の遵守については、その認定事業者に委ねています。

### 5.5 Cisco Webex ハイブリッドサービス

Cisco Webex ハイブリッドサービスを利用して、既存のオンプレミス インフラストラクチャを Webex クラウドプラットフォームに接続することができます。Cisco Webex ハイブリッドサービスを利用する場合は、Cisco Webex との統合（以下「**ハイブリッドソフトウェア (Hybrid Software)**」）を可能にするため、お客様の施設においてソフトウェア アプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。自社環境内でのハイブリッドソフトウェア管理は、専門の人員によって実施するものとします。お客様は、ハイブリッドソフトウェアを、お客様が承認した第三者またはユーザーのみがアクセスできる安全な環境で維持するものとします。ハイブリッドソフトウェアの新しいリリースが利用可能になったときは、お客様はハイブリッドソフトウェアを更新するか、パッチを適用するものとします。お客様は、ハイブリッドソフトウェアを万が一の喪失、破壊、改ざん、不正アクセス、および違法な廃棄から保護するための適切な技術的および組織的な措置を実装して、これを維持するものとします。



## 6. サポートとメンテナンス

本クラウドサービスおよびソフトウェアには、基本的なオンラインサポートおよび電話サポートが含まれています。サポートはシスコが提供します。ただし、Webex Calling for SP、HCS、Unified Communication Manager Cloud for Government のサポートはお客様のサードパーティ サービス プロバイダーが提供します。シスコがサポートを提供する場合、シスコは、下記の表に記載されているとおりに対応します。その際、サービスの問題を解決するために、お客様に情報提供を依頼する場合があります。お客様は、依頼された情報をシスコに提供することに合意し、情報の提供が遅れた場合には問題解決および対応までの時間が遅くなる可能性があることを了解するものとします。

オンラインサポートでは、オンラインツール、電子メール、Web によるケースの送信を通じてのみサポートとトラブルシューティングを利用できます。電話によるサポートは提供されていません。ケースのシビラティ（重大度）またはエスカレーション ガイドラインは適用されません。電話サポートでは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) が 24 時間 365 日サポートを提供します。お客様は使用方法や問題のトラブルシューティングについて電話で問い合わせできるほか、オンラインツールで Web ケースを送信できます。

シスコ製品に関する有用な技術および一般情報を提供する、Cisco.com へのアクセス、ならびに、シスコのオンライン ナレッジ ベースとフォーラムへのアクセスもできます。なお、シスコによるアクセス制限が随時適用される場合があります。

ソフトウェアの場合、シスコは、(i) 報告された問題に対する回避策またはパッチ、(ii) Cisco Software Central でアクセス可能な、ライセンス取得済みのソフトウェアバージョンに対するメジャー、マイナー、およびメンテナンス リリースを提供します。報告されたソフトウェアの問題を修正するためには最新のソフトウェアリリースへの更新が必要になる場合があります。

次の表は、送信されたケースに対するシスコの応答目標をケースのシビラティ（重大度）別にまとめたものです。シスコは、割り当てられたケースのシビラティ（重大度）を、以下に示すシビラティ（重大度）の定義に合わせて調整する場合があります。

ソフトウェアサポートサービス	テクニカルサポート カバレッジ	シビラティ（重大度）1 または 2 のケースにおける応答時間目標	シビラティ（重大度）3 または 4 のケースにおける応答時間目標
Basic サポート（電話サポート付き）	電話、Web により 24 時間 365 日	1 時間以内に対応	翌営業日以内に対応
Basic サポート（オンラインサポート付き）	Web	翌営業日の標準営業時間内にすべてのケースに対応	

本第 6 項には次の定義が適用されます。

**応答時間：** ケース管理システムでケースが送信されてからサポートエンジニアが連絡するまでの時間を意味します。

**シビラティ（重大度）1：** クラウドサービスまたはソフトウェアが使用できないもしくはダウンしている、またはお客様の業務に対して重大な影響もしくは著しい影響が生じている状態を意味します。お客様とシスコは、事態を解決するためにフルタイムのリソースを投入します。

**シビラティ（重大度）2：** クラウドサービスまたはソフトウェアのパフォーマンスが低下しているか、ソフトウェアのパフォーマンスが許容できない水準にまで低下していることによって、お客様の業務の重要部分に悪影響が及んでいる状態を意味します。お客様とシスコは、事態を解決するために、標準営業時間中にフルタイムのリソースを投入します。

**シビラティ (重大度) 3:** クラウドサービスまたはソフトウェアに障害が発生しているが、ほとんどの業務が正常に機能している状態を意味します。お客様とシスコは、事態を解決するために、標準営業時間中にリソースを投入するように努めます。

**シビラティ (重大度) 4:** 機能またはパフォーマンスに関する軽微かつ断続的な問題が発生したか、クラウドサービスまたはソフトウェアに関する情報が必要とされる状態を意味します。業務への影響はほとんどないか、まったくありません。お客様とシスコは、要求された情報または支援を提供するために、標準営業時間中にリソースを投入するように努めます。

**営業日:** サポートが実施される関連地域内において、1週間のうちで一般的に営業活動があるものと受け入れられている日を意味します。ただし、シスコが認識している現地の休日は除きます。

**現地時間:** ヨーロッパ、中東、アフリカで提供しているサポートの場合は中央ヨーロッパ時間を、オーストラリアで提供しているサポートの場合はオーストラリアの東部標準時を、日本で提供しているサポートの場合は日本標準時を、それ以外のすべての場所で提供しているサポートの場合は太平洋標準時を意味します。

**標準営業時間:** 営業日の午前8時から午後5時 (Cisco TACの所在地における現地時間) を意味します。





## 付属書 A：教育関連のユーザー向けオファー説明書補足資料

### 1. 補足条項

以下の段落は、本オファー説明書の第3項の最後に挿入されます。

### 2. 教育関連のユーザー

Cisco Collaboration Flex Plan for Education は、適用法令、規制、政府/地方自治体のその他の政策に基づいて、学校、短期大学、大学、その他の教育機関であると認められる公的機関または民間機関（以下「**教育関連のユーザー**」）が利用することを想定しています。

### 3. 未成年者に関する義務

お客様とシスコとの間：

シスコテクノロジーの提供に関して教育関連のユーザーおよびシスコが個人情報を収集、利用、処理することについて、未成年者の両親および保護者に通知して適切な同意を取得する責任は、教育関連のユーザーが単独で負います。

教育関連のユーザーは、未成年者の個人情報を収集、利用、その他の処理をする前に当該内容を通知し、当該同意を取得します。また、合理的な要求に応じて、当該通知および同意の証拠をすみやかにシスコに提供します。

さらに、教育関連のユーザーは、未成年者から収集した個人情報に対してアクセス、訂正、削除、使用制限を求める権利を両親/保護者に付与します。



## 付属書 B : FedRAMP Certified Cloud Services 向けオファー説明書補足資料

### 1. ライセンスモデルに関する補足条項

Active User ライセンス付与モデルに基づいて、お客様の注文書の Active User 数には、(a) Active User 40 人、(b) お客様の従業員の 10%、(c) 既存のサブスクリプションから移行する場合は既存のサブスクリプションに関連する注文書上の Active User 数、のうちの、最も大きい数値を反映させる必要があります。サブスクリプションの 2 年目からお客様の支払対象となる最小 Active User 数は、(a) Active User 40 人、(b) 従業員の 10% または (c) 平均 Active User 数のうち、最も大きい数になります。「平均 Active User 数」とは、お客様の前年のサブスクリプション期間の 9 か月目、10 か月目、11 か月目の月間 Active User 数の平均値を意味します。

### 2. 補足条項

以下の段落は、本オファー説明書の第 3 項の最後に挿入されます。

#### 2.1 FedRAMP Certified Cloud Services

Webex for Government および Unified Communication Manager Cloud for Government の両方が、連邦リスク・認証管理プログラム（以下「FedRAMP」）によって認定されています。これらのクラウドサービスの利用に関連して処理された個人データは米国に保存され、国外へのデータ転送の対象にはなりません。お客様が連邦政府の情報にアクセスできる場合、お客様は、連邦政府の情報を FedRAMP 認定環境に限定し、FedRAMP 認定を得ていないクラウドサービスに関連してアクセスできないようにする責任があります。また、お客様は、シスコパートナーが特定のアプリケーションにアクセスし、お客様に代わって特権オペレータ権限（例：Control Hub でお客様の組織によるクラウドサービスの使用を設定および管理する権限）を行使することを認める場合、シスコがシスコパートナーにかかる権限を付与することを認めるとともに、シスコパートナーが FedRAMP およびその他のセキュリティ要件を満たしていることを確認する責任を負います。

#### 2.2 PSTN トラフィックに関連するシスコの責任に関する免責事項

米国以外の場所から本クラウドサービスに接続する場合、シスコは、お客様やお客様の会議参加者が統合 VoIP を使用することを強く推奨します。お客様は、PSTN 経由の通話は暗号化されず、各地域の法律に従うことを認識しているものとします。暗号化されていない PSTN 接続をお客様が使用したことで損害を被った場合、その責任はすべてお客様にあり、シスコはそれらの損害に関して一切の責任を負いません。



## 付属書 C : Webex Production Assist に関するオファー説明 書補足資料

### 補足説明

以下の段落は、Webex Production Assist Services に関連して、本オファー説明書の第 1.4 項の最後に挿入されます。

Webex Production Assist Services チームは、お客様がシスコテクノロジーを利用して Webex Meetings、Trainings、および Webex Webinars (旧称 : Webex Events) を実施することを支援するために専任のシスコリソースを通じてサービスを提供します。Cisco Production Assist Services には、Technical Monitoring Assist、Standard Assist、Premium Assist、Premium Plus Assist、Event Assist、または Lifecycle Assist が含まれる場合があります。お客様側の担当者は、サービスの提供中に対応できる必要があります。各サービスの詳細は、注文書および確定済みの予約に記載されています。サービスを受けるには予約が必要です。Webex Production Assist Services チームが確認書面を送信するまで、予約の要求は確定されません。サービスが追加された場合、追加料金が適用されます。お客様によって確定済みの予約がキャンセルされた場合、キャンセル料がかかる場合があります。お客様の支払い義務は、従業員による実際の使用状況と、適用されるキャンセル料の組み合わせに基づきます。



## 付属書 D : Cisco Calling 製品に関する補足資料

この補足資料は、Webex Calling、Cisco Calling Plan、Unified Communications Manager Cloud (UCM-C)、および Unified Communications Manager Cloud for Government (UCM-G) (総称して、以下「Cisco Calling 製品」) に関連するデバイス、システム、ネットワークまたはアカウントの使用を含む、Cisco VoIP サービスのすべての使用を対象としています。また、オンプレミスの UCM の使用も対象としています。

### 1. PSTN の要件と免責事項

Webex Calling、UCM-C、または UCM-G を使用するには、お客様は、公衆電話交換網 (以下「PSTN」) のローカルサービス、長距離電話サービス、緊急通話サービス、ダイヤルインサービスを (1) シスコ認定サードパーティ サービスプロバイダーから、または (2) Cisco Calling Plan の一部としてシスコから購入し、シスコテクノロジーと併用する必要があります。シスコから PSTN サービスを購入した場合、該当するシスコの関係会社 (米国およびカナダの BroadSoft Adaption LLC を含みます) が PSTN サービスを提供します。

### 2. 緊急通話に関するポリシー

Cisco Calling 製品を利用した緊急通話の動作は、従来の緊急通話サービスとは異なります。Cisco Calling 製品では、インターネットを介して PSTN との間で電話の発信ができます。Cisco Calling 製品は従来の電話サービスに似ていますが、VoIP サービスの特性上、緊急通話では固有の制限や状況が発生します。

PSTN と組み合わせた Webex Calling または UCM-C を導入する場合、お客様の法域で義務付けられているとおり、国または州が指定する緊急電話番号に緊急通話するときに備え、お客様のユーザーの緊急対応場所に関する情報を収集する必要があります。これには、Cisco Calling Plan を介してシスコから PSTN サービスを取得する場合も含まれます。

さらに、Cisco Calling Plan を介してシスコから PSTN サービスを取得した場合、お客様には、シスコの関連ポリシー (本付属書に記載されています)、およびユーザーが場所を変更した場合やシスコが提供する PSTN サービスにアクセスする際に使用する機器を移転した場合に緊急対応場所情報を更新する必要がある旨をユーザーに通知する責任があります。なお、シスコの[発信番号ポリシー](#)が、Cisco Calling Plan に適用されます。

Webex Calling ユーザーの場合、緊急サービス (911 および 988 を含みます) へのテキスト送信には対応いたしません。別の手段で緊急サービスをご利用ください。

#### 2.1 登録場所

VoIP コールは、ユーザーがインターネットに接続できる場所であればどこでも可能なため、発信者の電話番号は発信者の物理的な場所と対応しない場合があります。そのため、すべてのお客様は、Cisco Calling 製品のサービス設定時に各ユーザーの「登録場所」をシスコに提示する必要があります。なお「登録場所」とは、ユーザーが Cisco Calling 製品のサービスを使用する場所のことをいいます。

お客様またはお客様のユーザーが機器を新しい場所に移動した場合、お客様またはお客様のユーザーはただちに、お客様の Control Hub 内の登録場所をデバイスの新しい物理的な場所に変更する必要があります。登録場所が更新されない場合、デバイスから発信された緊急通話が誤った緊急対応センターに転送されたり、誤った位置情報が緊急対応者に送信されたりして、お客様のユーザーへの緊急対応が遅れる可能性があります。ユーザーが複数いるお客様は、お客様の責任で各ユーザーの正確な登録場所を最新に維持し、ユーザーに登録場所の変更方法を伝える必要があります。なお、更新された登録場所を、ルーティングおよび緊急通話センターで利用できるようになるまでに時間がかかる場合があります。

お客様は、本ポリシーに記載されている VoIP サービスにおける緊急通話の特性および制限について、お客様の VoIP サービスのユーザーまたは見込みユーザーに通知する責任があり、また通知することに同意します。

## 2.2 緊急通話のルーティング

緊急通話の処理は、従来の電話サービスとは異なります。お客様のユーザーが緊急通話を発信すると、シスコやサードパーティのサービスプロバイダーは、お客様またはお客様のユーザーのアカウントに関連づけられた登録場所に対応する緊急通話センターに、お客様のユーザーの通話を自動的にルーティングしようとします。お客様のユーザーのアカウントに登録場所が設定されていないなどの理由で、指定された緊急コールセンターにお客様のユーザーの通話をルーティングできない場合、その通話は専門のコールセンターにルーティングされます。この場合、お客様に料金が発生する可能性があります。お客様のユーザーは、名前、住所、電話番号を専門のコールセンターに提供する必要があります場合があります。

シスコは、お客様またはお客様のユーザーのアカウントに関連付けられた名前、登録場所、電話番号を、緊急通話センターのディスペッチャーまたは緊急サービスオペレータに自動的に提示しようとします。ただし、通話を受信したディスペッチャーがこの情報を取得または保持できない場合があります。そのため、緊急通話を発信する場合、発信者は常に自分の場所（自分が別の場所にいる場合は、緊急事態が発生している場所）をディスペッチャーに即座に知らせる必要があります。発信者が会話できない場合に、場所の情報が最新でないと、ディスペッチャーが発信者の場所を特定できない可能性があります。

発信者は、ディスペッチャーが発信者の番号または連絡先情報を持っていない可能性があるため、ディスペッチャーから切断するように指示されるまで、緊急通話をつないだままにしておきます。発信者が誤って通話を切断してしまった場合、発信者はすぐに電話し直す必要があります。

ネットワークの輻輳などの技術的な理由から、緊急通話が話し中になったり、従来の緊急通話よりも接続に時間がかかったりする可能性があります。

## 2.3 サービスに関する制限事項

緊急通話は、以下のような特定の状況では機能しません。

- お客様またはお客様のユーザーが VoIP コールのために使用する機器に障害が発生した場合、または当該機器が正しく設定されていない場合
- お客様またはお客様のユーザーの拠点で停電が発生している、またはお客様のインターネットサービスが停止、中断、切断されている場合
- お客様のサービスが終了または中断している場合

お客様またはお客様のユーザーがシスコのサービスを使用する緊急通話に対する制限について懸念される場合、シスコは、従来の緊急通話サービスを使用するための代替手段を検討することを推奨します。

## 2.4 免責事項

緊急通話する際の緊急対応場所は、お客様の会社の所在地に限定される場合があります。お客様は、緊急サービスに電話する際に必ず現在地を伝えるよう、承認ユーザーに勧告する責任を負います。ブロードバンド接続、PSTN サービスもしくは電力供給に不具合が生じた場合、またはこれらが一時的に停止もしくは中断した場合、またはネットワーク接続が中断するその他の事由が生じた場合、シスコテクノロジー（緊急通話を含みます）も停止します。シスコは、ネットワーク接続の障害に起因するあらゆる請求に対して責任を負いません。

緊急対応場所情報やお客様またはお客様のユーザーの電話番号の送信機能など、特定の機能を利用できるかどうかは、各地域の緊急対応センターがそれらの機能をサポートしているかどうかなど、シスコの管理外の要因によって決まります。シスコは、各地域の緊急対応センター、緊急対応場所またはその他の所在地情報を更新するためにお客様が委託している第三者、および緊急対応サービスの提供に関与するその他すべての第三者の行為について、一切の責任を負いません。適用される法律によって認められている場合、お客様は、(1) 該当の第三者または、緊急通話の処理もしくは対応に関与するその他の第三者の作為または不作為、(2) シスコ提供の PSTN サービスを使用して緊急サービスに連絡できない場合、(3) お客様が緊急サービスを利用するために必要な手配を怠ったことに起因する、または関係する一切の事項に関して、シスコ（シスコの取締役、役員、従業員、請負契約者、ライセンス付与者、エージェントを含む）に対する権利を放棄し、責任を問わず、損害を与えないものとします。

### 3. Cisco Calling Plan の許可された使用

Cisco Calling Plan は、合法的で、妥当かつ適切な目的のためにのみ使用できます。Cisco Calling Plan を使用して、以下の禁止行為を行ってはなりません。同様に、お客様は、お客様の関係会社およびユーザーが以下の活動を行うために Cisco Calling Plan を使用しないことを徹底するものとします。さらに、お客様は、第三者が以下のような禁止行為を行うために Cisco Calling Plan を使用することを承認したり、支援したり、可能にしたりしないものとします。

- 中傷、嫌がらせ、脅迫、虐待、名誉毀損、悪意のある行為、不正行為、詐欺行為を含む違法な行為、または違法な行為や暴力を助長する行為
- ポルノやアダルト エンターテインメント業界の目的に関連する活動（そのような活動が法律で許可されているかどうかにかかわらず）
- 事業体または組織のアイデンティティまたは提携に関する不当表示
- 未成年者を脅迫する、搾取する、その他の方法で危害を加えるなどの活動、または人身売買やテロを助長する行為
- シスコまたは他者の知的財産や所有権を侵害する行為
- 不正なメッセージ、広告、スパム（以下を含む）
- Usenet などのニュースグループ、リストサーブ、フォーラム、メーリングリスト、またはその他の類似グループまたはリストへの、内容が類似する複数のメッセージの投稿
- 大量の使用（カスタマーサービスの電話番号など）またはコンタクトセンターの展開
- 調査、コンテスト、ピラミッドスキーム、チャリティ要求、チェーンレターの実施または転送
- 匿名での電子メールの中継、または TCP-IP パケットヘッダーの偽造
- メールボム、フラッドイング、オーバーローディング、攻撃、システムやネットワークへの干渉
- 承諾を得ずに実施することで苦情が発生することが合理的に予想される場合、または実際に発生する場合における、未承諾の通話、メッセージ、電子メール（営利広告や情報通知を含みますが、これらに限定されません）の送信
- 同意を得ていないユーザーデータの抽出、収集、蓄積
- Cisco Calling Plan に悪影響を及ぼす活動または破壊的な活動
- Cisco Calling Plan へのアクセス、またはその使用もしくはセキュリティの制限を回避しようとする行為
- 一括コールイン回線および自動ダイヤルまたは「予測」ダイヤル



- 同じ宛先または番号に、繰り返し、継続的にメッセージを送信したり、電話をかけたりすること（そのような活動によって苦情が発生することが合理的に予想される場合、または実際に発生する場合）
- 長時間通話（24 時間以内に同じ番号に連続して 4 時間を超える通話を行う、または累積で 4 時間を超える通話を行う）、第三者に対して、または第三者との間に料金を発生させる目的で特定の番号/宛先に電話をかける、トラフィックポンピングまたはアクセス刺激と解釈される可能性があるその他の通話行為
- 実際の人間の声による継続的な会話、または人間間の声による継続的な会話が含まれない方法での通話サービスの利用
- Cisco Calling Plan またはそのコンポーネントの販売、再販、サブリース、割り当て、ライセンス付与、サブライセンス付与、またはサービスビューロベースやタイムシェアリングベースでの利用もしくは提供
- 業界標準規格または第三者のポリシー（CTIA（Cellular Telecommunications Industry Association）、Mobile Marketing Association、NENA（National Emergency Number Association）、その他の受け入れられている該当する業界団体が公開している適用のあるガイドライン、

通信事業者のガイドライン、これらに類似する、または似ている他の業界基準、あらゆる法域における第三者のポリシーや第三者の要件のすべてを含みますが、これらに限定されません）に違反する方法での Cisco Calling Plan の使用

- システムまたはネットワークの所有者の許可なく、次の行為を行うこと：システムまたはネットワークにアクセスする
  - データやトラフィックをモニターする
  - ファイアウォールの調査、スキャン、テストを行う
  - システムやネットワークの脆弱性をテストする
  - システムやネットワークのセキュリティまたは認証ルーチンを侵害する、またはバイパスする
- 「オープンリレー」設定（メールサーバーが、送信者も受信者もローカルユーザーでない電子メールメッセージを処理する設定）でのサービスに関連したサーバーを運用する
- モニタリング、インターコムなどのサービスとしてオープンな電話回線を利用する

#### 4. 国別の補足条項

一部の国では、追加の補足条項が Cisco Calling Plan に適用されます。これらの条項は、<http://cs.co/callingplansterms> に掲載されている場合があります。

#### 5. ビジネス上のテキスト送信機能の許可された使用

シスコがユーザーに対しビジネス上のテキスト送信を可能にする範囲において、ユーザーは、連絡先宛ての 1 対 1 でのテキスト送信のためにのみ、ビジネス上のテキスト送信機能を使用することができます。ビジネス上のテキスト送信機能を使用して、以下の禁止行為を行ってはなりません。同様に、お客様は、お客様の関係会社およびユーザーが以下の活動を行うためにビジネス上のテキスト送信機能を使用しないことを徹底するものとします。さらに、お客様は、第三者が以下の禁止行為を行うためにビジネス上のテキスト送信機能を使用することを承認したり、支援したり、可能にしたりしないものとします。

- 外部または社外に対するメッセージの自動送信、ポットによる送信、チャットポット、あらゆる種類の大量の SMS やテキストの送信



- ユーザー 1 人につき 1 分あたり 10 件を超えるテキストの送信
- A2P、またはアプリケーションから個人へのメッセージの送信
- 迷惑なテキストメッセージの送信
- Usenet などのニュースグループ、リストサーブ、フォーラム、メーリングリスト、またはこれらに類似するその他のグループやリストに対する、内容が類似する複数のメッセージの投稿
- 不正なテキストまたはフィッシング テキスト メッセージの送信

## 6. UCM ソフトウェア

UCM は、お客様による使用のみを目的としています。お客様がサードパーティのデータセンターに UCM をホストする場合、お客様は、UCM を実行するのに必要なすべてのハードウェアおよび関連インフラストラクチャに対する法的所有権、ならびにソフトウェアの有効なライセンスを保持している必要があります。シスコから書面による許可を得ずに、サードパーティが UCM をホストしたり、パートナーがホストするサービスまたはこれに類似するサービスとして UCM を提供したりすることはできません。この許可を得るには、シスコまたはシスコパートナーにお問い合わせください。



## 付属書 E : Real Time Translation - Active User 向けオファー 説明書補足資料

### 補足条項

次の条項は、Active User (AU) ライセンスモデルに基づいて Real Time Translation (RTT) for Webex Meetings を購入したお客様に固有の補足条項です。このようなお客様については、本オファー説明書の第 3 項の末尾に以下の条項を追加します。

Real Time Translation (RTT) は、Webex Meetings またはウェビナーのアドオンサービスです。RTT Active User (RTT AU) は、RTT サービスを使用するための Active User ライセンスモデルをお客様に提供します。このモデルでは、シスコは、RTT AU を購入したお客様に対して True Forward を実施する場合があります。「True Forward」の仕組みは次のとおりです。

- RTT Active User のピーク数が、最初の RTT Active User 最低数の 5 倍 (5X) を超えた場合 (時期は問いません)、お客様の RTT Active User 最低数は即座にリセットされ、ピーク時の実際の RTT Active User 数と等しくなります。
- シスコは提供日から 1 年ごとに、お客様の平均 Active User 数を測定します。お客様の平均 Active User 数が AU 最低数より大きいことが判明した場合、AU 最低数は増加し、その追加された Active User 数分について、残りの使用期間中、増分の True Forward 料金が加算されます。
- 請求の調整は、True Forward 計算結果として AU の最低数が増加した後であれば、いつでも行うことができます。
- True Forward によって Active User 数が減ることはありません。